

ホラッ 5月の 屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター

アヤメ カキツバタ ハナショウブ

いずれもアヤメ科です。よく似ていますね。

花びらに見える部分を外花被片がいかひへんと言います。3種をこの部分で区別すると、アヤメの黄色い部分には網目模様（綾目模様）があります。カキツバタには白色のすじがあります。ハナショウブには黄色いすじがあります。北区太田神社のカキツバタ群落は天然記念物に指定されています。深泥池には白花のカキツバタも見られます。外来種のキショウブも増えてきました。



ウラシマソウ (サトイモ科)

花の中にある付属体が長い糸のようにのびています。浦島太郎が持っている「釣り竿と釣り糸」に見たててこの名がつけました。同じ仲間のマムシグサも観察してみましょう。

ハナゾノツクバネウツギ (スイカズラ科)

別名アベリア。花期が長く、剪定にもよく耐えるので公園・道路脇の緑化樹としてよく使われます。

芝生広場で野草をさがしてみましょ

ヘビイチゴ・ニワゼキショウ・ベニカタバミなどの野草が花を咲かせています。説明板を見ながら観察してみましょう。



山笑う季節

故郷は

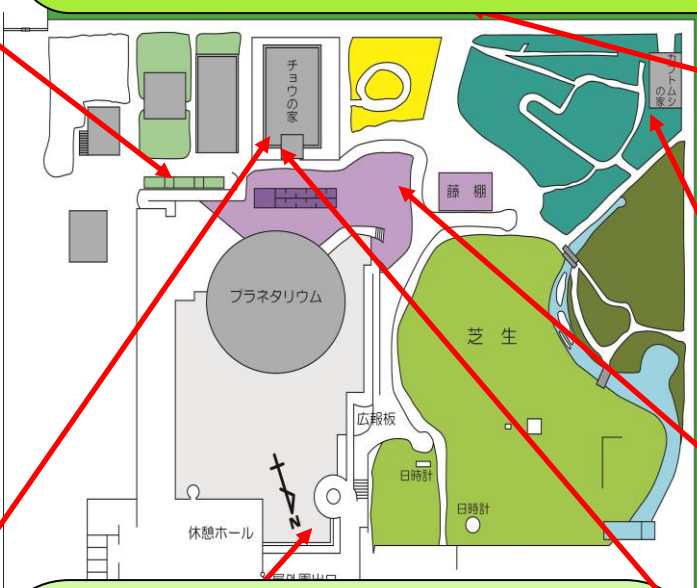
どちらを見ても山笑う

正岡 子規

「山笑う」とは俳句における春の季語です。春の山の明るい感じをいいます。京都盆地を取り巻く山々の木々の若葉が色とりどりで。屋外園の木々の若葉の色を観察してみましょう。少しずつがいますよ。



永観堂のカエデやシイの新緑



トベラ (トベラ科)

枝先に多くの小花をつけます。よい香りがあるのでいろいろな昆虫が訪れます。

ウツギ (アジサイ科・旧ユキノシタ科)

旧暦四月（卯月）頃に花が咲くので「うのはな」と呼ばれます。枝が中空になっているので「空木」と名がつけられました。

サツキツツジ (ツツジ科)

旧暦の5月（皐月）の頃に咲きそろうところからつけられた名です。開花の時期が他のツツジより遅いです。

トウオガタマ (モクレン科)

中国原産。黄白色の花はほんのりと縁が紅色に染まり、バナナのような甘い香りがします。

ドクダミ (ドクダミ科)

十種の薬効があるので十薬とも呼ばれます。独特のおいがします。いい匂い？花びらのように見えるのは苞です。花はどこかな？

5月

花だより

京都市青少年科学センター



アヤマ



ノハナシヨウブ



カキツバタ



キシヨウブ



ジャーマンアイリス



ウツギ



ハナゾノ
ツクバネウツギ



トベラ



サツキツツジ



キリシマツツジ



ヒラドツツジ



メキシコマンネングサ



ミヤコワスレ



ウラシマソウ



トウオガタマ



センダン



フジ



ドクダミ



ユキノシタ



コバンソウ



ヒメコバンソウ



ムラサキツユクサ



スイレン



ギボウシ



シラン



ツルニチニチソウ



シロツメクサ

屋外園が呼んでますよ!

屋外園の植物を紹介しています。
このカードを持って、観察しませんか!